

第95回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動について

2003年1月以降、噴火した火山は、浅間山、桜島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島の4火山でした。

三宅島では、依然として山頂火口から二酸化硫黄を含む火山ガスが放出されています。別紙のとおり統一見解を発表しました。

浅間山では、噴煙活動がやや活発な状態が続いており、本年2月から4月中旬まで、時折ごく小規模な噴火が発生しました。阿蘇山では、熱的活動はやや活発な状態で推移しています。

これらの火山では、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

全国の火山活動状況は以下のとおりです。

1. 北海道地方

1) 雌阿寒岳

- ・4月13～23日に地震がやや増加しました。
- ・2000年以降ポンマチネシリ96-1火口温度はやや低下し、噴煙活動もやや弱い状態が続いています。

2) 十勝岳

- ・62-2火口では活発な噴煙活動が続いています。
- ・2月8日継続時間37分の火山性微動が発生しましたが、火山灰の噴出等はありませんでした。微動はその後も2回発生しましたが、顕著な地震増加はありませんでした。

3) 樽前山

- ・この期間顕著な地震増加は見られませんでした。A火口などでは高温状態が続いています。

4) 有珠山

- ・2000年噴火の余効的变化が続いています。火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

5) 北海道駒ヶ岳

- ・2月25～26日に微小地震が一時的にやや増加しましたが、火山性微動は観測されませんでした。
- ・昭和4年火口の噴煙活動は穏やかで、全体に熱活動が低下した状態にあります。
- ・GPS観測では、引き続きわずかな山体膨張傾向が見られています。

6) 摩周

- ・2月12～13日に摩周カルデラ内の浅部を震源とする地震活動（最大地震M3.8）が一時的に活発化しました。

2. 東北地方

1) 岩手山

- ・火山活動は比較的穏やかに経過しました。
- ・東岩手山のやや深い（深さ10km付近）ところを震源とする火山性微動、低周波地震は引き続き発生しています。
- ・黒倉山山頂の噴気の高さは2月に一時300mを観測するなど、黒倉山付近の噴気活動は依然として続いています。
- ・黒倉山周辺の局地的な地殻変動は続いています。

2) 吾妻山

- ・火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

3) 安達太良山

- ・2003年1月～2月に、深さ17～20kmの下部地殻に火山性微動が発生しました。

4) 磐梯山

- ・時折、小規模な火山性微動を観測していますが、火山活動に大きな変化はなく、静穏に経過しました。

3. 関東・中部地方

1) 那須岳

- ・火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

2) 草津白根山

- ・地震活動に特別な変化はありませんでしたが、火山ガスの温度や化学組成などに若干の変化が見られました。

3) 浅間山

- ・2000年9月から火山活動はやや活発な状態が続いています。

- ・地震活動は、1日あたりの地震回数は10～50回程度で推移しました。

- ・噴煙活動はやや活発な状態が続いています。昨年6月から観測されている火口底温度の高い状態は依然続いています。火映現象は観測されませんでした。

- ・二酸化硫黄の放出量は、多い状態が続いています。

- ・2002年夏以降、GPS観測では、わずかな山体膨張傾向が見られます。

- ・2月6日、3月30日、4月7日、4月18日にごく小規模な噴火が発生しました。

火山活動がやや活発な状態が続いており、今後も火口周辺に影響を及ぼすごく小規模な噴火の発生する可能性があります。

4) 御嶽山

- ・火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

5) 富士山

- ・高周波地震、低周波地震ともに少なく、静穏な状態が続きました。

6) 伊豆東部火山群

- ・火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

7) 伊豆大島

- ・火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

8) 三宅島

- ・別紙のとおり統一見解を発表しました。

9) 八丈島

- ・超低周波地震（卓越周期7～11秒）を含む地震が時々発生した他は、静穏な状態が続きました。

4. 九州地方

1) 九重山

- ・火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

2) 阿蘇山

- ・中岳第一火口の熱活動は、やや活発な状態で推移しています。

- ・中岳第一火口は、全面湯だまり状態が続いており、南側火口壁下の赤熱現象も引き続き観測され、4月にはこれまで最高の501℃を観測しました。

- ・孤立型微動の日回数は、1月には400回以上と多い状態から次第に減少し、3月中旬以降は50回以下でした。

- ・火山性地震は少ない状態で推移し、噴煙活動に大きな変化はありませんでした。

3) 雲仙岳

- ・火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

4) 霧島山

- ・御鉢付近の火山性地震は一時的に増加しましたが、その他は少ない状態で推移しました。
- ・火山性微動は9回観測し、継続時間が10分間を超えたのは3月25日の1回でした。
- ・新燃岳付近を震源とする火山性地震は総じて少なく、微動も少ない状態で推移しました。
- ・新燃岳及び御鉢火口の噴気地帯に変化はありませんでした。

5) 桜島

- ・桜島南岳は今期間も山頂噴火を繰り返しましたが、桜島の活動としては比較的静穏な状態が続きました。
- ・期間中の噴火回数は9回、うち爆発回数は6回でした。

6) 薩摩硫黄島

- ・2月16日から19日に連続した火山性微動を観測し、17日にごく微量の降灰を確認しました。また、4月13日には山頂から乳白色の噴煙を観測しました。
- ・他の期間は地震活動、噴煙活動ともに大きな変化はなく、定常的な活動が続いています。

7) 口永良部島

- ・火口直下の地震活動の高まり、火口の地温上昇・噴気の活発化が認められます。
- ・火山性地震は2月から増加しており期間中388回観測しました。
- ・振幅の小さな火山性微動は、期間中19回観測しました。
- ・火口直下での熱による消磁傾向が2月以降やや加速しています。
- ・新岳火口底に新たな噴気活動を確認しました。

8) 諏訪之瀬島

- ・2000年12月から火山活動が活発な状態が続いています。
- ・噴火活動は活発で、爆発的噴火を期間中30回観測しました。また、連続的噴火も3回観測し、最も継続時間の長かったのは2003年3月7日の610分でした。
- ・十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、体を感じる空振や爆発音、鳴動もあり、集落にも時折降灰がありました。

5. 海底火山

福徳岡ノ場で変色水域が確認されましたが、特に大きな変化はありませんでした。